学校番号	３２２

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次 （普通科）
使用教科書	「高校日本史　改訂版」　（山川出版社）						
副教材等	「最新　日本史図表」　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

民族活動の活発化、情報システムの革新、国際化の進展の中で、日本が国際的に果たすべき役割は大きくなっている。21 世紀の社会を担ううえで、祖先が歩んだ道を振り返り、そこから多くを学び、強く生きる道を探ることが大切である。時代の流れをとらえ、より深く歴史を探求する中で、歴史のおもしろさをつかみとることを期待する。

２　学習の到達目標

① ２年次から継続して近現代までの日本の歴史を考える。
② 我が国の歴史の展開を、地理的条件や諸外国と関連付けて総合的に考察する。
③ 各時代の特色とその変遷の考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。
④ 歴史的思考力をつちかい、国際社会に生きるための自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	わが国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、疑問を意欲的に考察し、国際社会のなかで国家・社会を形成するために自覚と資質を養う。	わが国の歴史の展開から課題を見出し、地理的環境や諸外国と関連づけて考察する。わが国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、表現できる。	わが国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取り、図表などにまとめることができている。	わが国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて総合的に理解し、知識をいかすことができる。
評価方法	ワークシート レポート 発言	定期考査 ワークシート 発言	定期考査 ワークシート 発言	定期考査 ワークシート 発言

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	古代社会の形成	・日本文化のはじまり ・農耕の開始 ・ヤマト政権と古墳	○ 	 ○ ○	 ○ 	○ ○	a 原始社会の特色および古代国家の成立過程について、意欲的に考察している。 b 古代国家の成立の背景から課題を見出し、東アジア世界との関係の変化と関連づけて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 原始社会の特色および古代国家の成立に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取り図表などにまとめることができている。 d 原始社会の特色および古代国家の成立過程についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて総合的に理解し、知識をいかすことができる。	定期考査 ワークシート 発言
	律令国家の形成	・律令国家の成立 ・律令国家の繁栄 ・律令国家の変質	○ ○	 ○ ○	○ 	 ○ ○	a 古代国家の社会や文化の特色について、意欲的に考察している。 b 古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景および、東アジアの国際関係と、関連づけて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 古代国家の社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取り図表などにまとめることができている。 d 古代国家の推移、文化についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて総合的に理解し、知識をいかすことができる。	定期考査 ワークシート 発言

	貴族政治の展開	・摂関政治 ・国風文化 ・荘園の発達と武士の台頭	○ ○	○ ○	 ○ 	 ○ 	a 後期古代国家の社会や文化の特色について、意欲的に考察している。 b 後期古代国家の推移、文化の特色、及び中世社会の萌芽から課題を見出し、多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 後期古代国家の社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取り図表などにまとめることができている。 d 後期古代国家の推移、文化、及び中世社会の萌芽についての基本的な事柄を、国際環境と関連づけて総合的に理解し、知識をいかすことができる。	定期考査 ワークシート 発言 レポート
二学期	武家社会の形成	・院政と兵士の台頭 ・鎌倉幕府の成立と発展 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	○ ○ ○ ○	○ 	 ○ ○ ○	 ○	a 鎌倉時代の社会・文化に対する関心と課題意識を高め、意欲的に考察している。 b 鎌倉時代の社会・文化から課題を見出し、東アジア情勢と関連づけて多角的・多面的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 c 鎌倉時代の社会・文化の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取り図表などにまとめることができている。 d 鎌倉時代の社会・文化についての基本的な事柄を、東アジア情勢と関連づけて総合的に理解し、知識をいかすことができる。	定期考査 ワークシート 発言

	幕藩体制の成立	・織豊政権 ・江戸幕府の成立 ・江戸初期の外交と文化	○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○	a織豊政権や江戸幕府の成立に関心と課題意識を高め、意欲的に考察している。 b政権と江戸幕府について多角的・多面的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 c江戸幕府の成立・文化についての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取り図表などにまとめることができている。 d江戸幕府の成立・社会・文化についての基本的な事柄を総合的に理解し、知識をいかすことができる。	定期考査 ワークシート 発言
	幕藩体制の展開	・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化	 ○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a経済の発展、元禄文化に関心と課題意識を高め、意欲的に考察している。 b幕政の安定と経済の発展について多角的・多面的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 c元禄文化についての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取り図表などにまとめることができている。 d幕政の安定と経済の発展の基本的な事柄を、総合的に理解し、知識をいかすことができる。	定期考査 ワークシート 発言
	幕藩体制の動揺	・幕政の改革 ・江戸幕府の衰退 ・化政文化	○ ○	○ ○	 ○	○ ○ ○	a幕政の改革と江戸幕府の衰退に関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 b幕政の改革と江戸幕府の衰退について多角的・多面的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 c化政文化についての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取り図表などにまとめることができている。 d幕府の改革・衰退・化政文化について総合的に理解し、知識をいかすことができる。	定期考査 ワークシート 発言

	近代国家の成立	・開国と幕府の滅亡 ・明治維新 ・立憲国家の成立 ・大陸政策の展開 ・近代産業の発展 ・近代文化	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a 開国と明治維新、明治時代の政治について関心と課題意識を高め、意欲的に考察している。 b 開国と幕府の滅亡、立憲国家の成立について多角的・多面的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 c 近代産業や文化についての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取り図表などにまとめることができている。 d 開国と明治維新、明治時代の政治、近代産業や文化について総合的に理解し、知識をいかすことができる。	定期考査 ワークシート 発言 レポート
三学期	二つの世界大戦とアジア	・第一次世界大戦と日本 ・政党政治と大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a 二つの世界大戦と恐慌について関心と課題意識を高め、考察に追究している。 b 二つの世界大戦と恐慌について多角的・多面的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 c 二つの世界大戦についての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取り図表などにまとめることができている。 d 二つの世界大戦と恐慌を総合的に理解し、知識をいかすことができる。	定期考査 ワークシート 発言 レポート

	現代の世界と日本	・占領下の改革と主権の回復 ・55 年体制と高度経済成長 ・現代の情勢	○ ○	○ ○	○	○ ○	a 戦後の日本について関心と課題意識を高め、意欲的に考察している。 b 戦後の日本の政治・経済について多角的・多面的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 c 現代の情勢ついての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取り図表などにまとめることができている。 d 戦後の日本について恐慌総合的に理解し、知識をいかすことができる。	定期考査 ワークシート 発言 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。